

観光



tourism



源流の雄姿を今に残す。
ヤッショマカシヨのかけ声が響き、

はな がさ おど 花笠踊り

尾花沢が発祥の地である花笠踊りは、徳良湖築堤の作業に合わせて歌われた土搗き唄（「花笠音頭」の元唄）に、人夫たちが使用したスゲ笠で踊ったことがはじまりとされています。現在は、源流5流派として子供から大人まで広く受け継がれています。



春

徳良湖まつり

花笠踊り発祥の地・徳良湖で、毎年5月の大型連休に行われます。本場の花笠踊りの披露、全国花笠マラソン大会、つり大会など多彩な催しが満載です。遊具も充実していますので、お子様連れでどうぞ。



秋

まるだし尾花沢ふれあいまつり

毎年10月の第2土・日に開催。尾花沢の食・技・芸が大集合。尾花沢の魅力余すことなく紹介するおまつりです。

四季を彩る尾花沢四大まつり



夏

おばなざわ花笠まつり

県内の夏祭りの最後を飾る盛大な祭りで毎年8月27・28日に行われます。初日は神輿や囃子屋台などの伝統行列、2日目の「花笠踊り大パレード」では、約2,500人の踊り手で街中が花笠一色に染まります。



冬

尾花沢雪まつり ～徳良湖WINTER JAM～

毎年2月に徳良湖周辺特設会場で開催。滑り台やスノーモビル乗車などのアクティビティ体験をはじめ、冬のスイカ割り大会など、雪に親しむ催しが満載です。

開催日	名称	場所
5月大型連休	徳良湖まつり	徳良湖周辺
6月下旬～7月上旬	花フェスタ in 徳良湖	徳良湖周辺
7月下旬	尾花沢すいかコンテスト	道の駅ねまる
8月15日	尾花沢牛肉まつり	徳良湖周辺
8月27・28日	おばなざわ花笠まつり	市街地中心部
10月上旬	まるだし尾花沢ふれあいまつり	サルナート
10月中旬	尾花沢新そばまつり	市役所駐車場
2月下旬	尾花沢雪まつり ～徳良湖 WINTER JAM～	徳良湖周辺



とく ら こ 徳良湖

自然と共存したレジャーを四季を通して楽しめる湖で、遊具やキャンプ場、レストランに温泉といった施設が集まる市民憩いの場です。「ため池百選」にも選ばれており、湖畔から望む風景は、人の心を和ませてくれます。

風を感じて、湖面に憩う。
笑顔と一緒に日が暮れる。



サンビレッジ徳良湖 オートキャンプ場

☎0237-23-2111 / 受付8:30～17:00
降雪期(12～3月)は、ログハウスのみ利用可
キャンプサイト100ヶ所とログハウスが3棟。アスレチック広場や釣りなどアウトドアライフを満喫できます。設備も充実し、徳良湖温泉も徒歩5分の距離です。



徳良湖温泉 花笠の湯 ☎0237-24-1160

8:00～21:30 第3水曜定休・冬期間(1～3月)9:00～21:30
(2・3月は第1水曜日も休館)



徳良湖温泉は、訪れた人の疲れを癒す館として親しまれています。休憩個室や家族風呂も完備し、本格的な手打ちそばが食べられます。また、花笠踊りや徳良湖の歴史が学べるコーナーもございます。

入浴料 お一人様 税込	大人(中学生以上)	小学生	小学生未満	休憩料 お一人様 税込	大人(中学生以上)	小学生	小学生未満
	400円	100円	無料		210円	100円	無料



グラウンドゴルフ場

受付:ふれあいセンター☎0237-23-4570
利用料金/100円(中学生以下無料)
徳良湖周辺に天然芝の全16ホールが広がり、快適なプレイを楽しめます。道具のレンタルも無料で、初めての方でも気軽に楽しむことができます。



レストラン徳良湖 ☎0237-23-2989 / 火曜定休

11:00～18:30(冬期間17:00以降要予約)
徳良湖の美しい景色を眺めながら、極上の「雪降り和牛尾花沢」を味わうことができます。軽食やお子様向けのメニューも充実しており、お得な限定ランチも人気です。



ちよつと昔の話 築堤当時の徳良湖

尾花沢市の東側一帯は地形的に高台で農業用の水を引くのは難しく、田んぼにできませんでした。明治後期、お米の値段も高くなり、各地で開田ブームが起こります。1919年(大正8年)高宮常太郎氏(当時34歳)は、トクラ森にため池をつくることを考えました。この大事業を行うには、たくさんのお金とその土地も持っている人からの協力が必要で、「尾花沢耕地整理組合」を作って事業をすることにしました。

お金のやりくりやたくさんの方の書類を作成し、ようやく事業をはじめることができました。徳良ため池は、大正8年から合計で約7万人という多くの人々の力で1921年(大正10年)に完成しました。築堤の最盛期には一日300人の人夫があつまり、毎日が単純な作業の繰り返しのため、人夫たちは作業に合わせて即興の唄(土搗き唄)を歌うことで、気分転換をしていました。その時歌われたのが、「花笠音頭」の元唄といわれています。また、唄だけでなく、持っていたスゲ笠を回して土搗き唄にあわせて踊るようになりました。これが「花笠踊り」のもととなっています。